

災害対応にかかわる 中央共同募金会の取り組み



～支える人を支える「活動支援金」、ボラサポ～

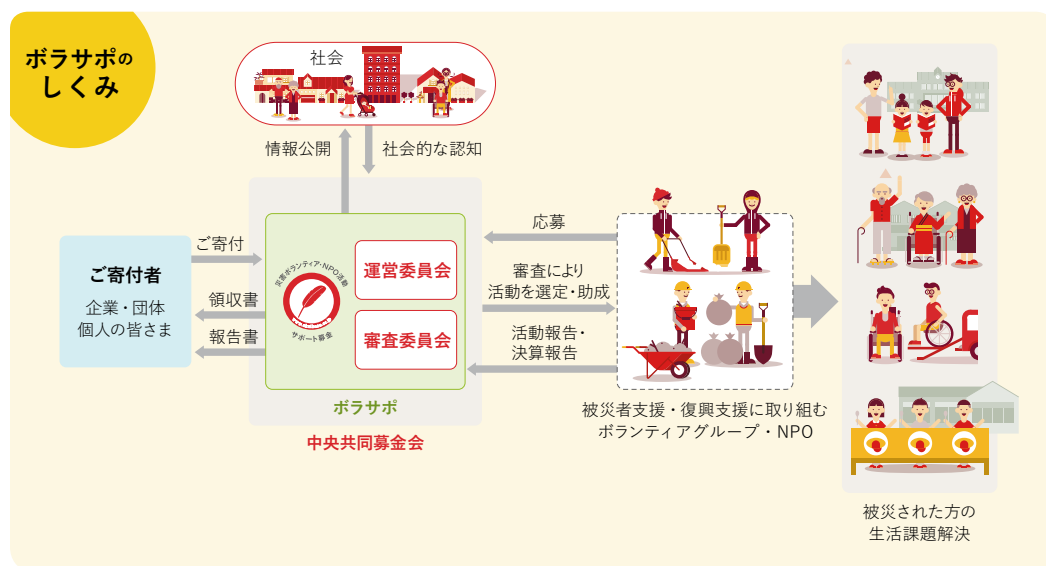
赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（ボラサポ）は、東日本大震災が起きた2011年3月に創設した、企業・団体・個人の皆さまからのご寄付により、被災地で活動するボランティアグループ・NPO団体に助成することでその活動を応援するしくみです。

寄付者の皆さまからお預かりしたご寄付とその想いを、被災地において被災された方々への支援を行う活動団体につなぎ、被災された方々に寄り添い支えています。

ボラサポの助成にあたっては、外部識者による運営委員会・審査委員会を設け、運営要綱と助成方針に基づき公正で適切な助成を行っています。

また、赤い羽根の持つ全都道府県、市区町村のネットワークを活用して、発災当初から情報収集しつつ、被災地に本当に必要とされている活動を支援しています。

2020年度は、令和2年7月豪雨、令和3年福島県沖地震の2災害における支援活動に対して助成を行いました。



支える人を支えるしくみ
～ボラサポ10年の軌跡～

ボラサポ10年の軌跡を、
1本の動画にまとめました。



「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」運営委員・審査委員

■運営委員

委員長	山崎美貴子	東京ボランティア・市民活動センター 所長
委員	諏訪 徹	日本大学 文理学部 社会福祉学科 教授
委員	長澤恵美子	一般社団法人日本経済団体連合会 SDGs本部 統括主幹
委員	明城 徹也	特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長
委員	吉田 建治	特定非営利活動法人日本NPOセンター 事務局長
委員	高橋 良太	社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長 兼 全国ボランティア・市民活動振興センター長
委員	阿部陽一郎	社会福祉法人中央共同募金会 常務理事

■審査委員

委員長	菅 磨志保	関西大学 社会安全学部・大学院 社会安全研究科 准教授
委員	鈴木 昭紀	Yahoo!基金 事務局長
委員	前田 昌宏	日本生活協同組合連合会 組織推進本部 サステナビリティ推進部 地域・コミュニティ担当
委員	高山 和久	東京ボランティア・市民活動センター 副所長
委員	吉野 篤史	社会福祉法人広島県社会福祉協議会 地域福祉課長
委員	青木ユカリ	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事・事務局長
委員	青山 織衣	社会福祉法人大阪ボランティア協会

2021年5月31日現在（敬称略）

*P19の「READYFOR×ボラサポ 災害支援基金」については、別途独立した運営委員会・審査委員会を設置しており、その委員体制は上記運営委員にREADYFOR株式会社・米良はるか、上記審査委員に同・徳永健人、両名をそれぞれ加えた体制となっております。



ボラサポはSDGs推進に寄与します

ボラサポは、災害時の被災者支援活動や平常時の防災・減災に対する活動への支援を通じて、「誰一人取り残さない」持続可能な社会づくりの実現を目指し、災害時の課題解決に向けて取り組んでいます。



これまでのボラサポによる助成状況

助成総計／15,791件 5,831,938,749円

2021年5月31日現在

災害名	募金・助成名(略称)	助成件数	助成決定額(円)
東日本大震災	ボラサポ	9,876	4,179,310,000
	ボラサポ2・住民支え合い活動助成	4,490	389,123,000
平成28年熊本地震	ボラサポ・九州	266	503,490,000
	ボラサポ・九州 住民支え合い活動助成	460	18,180,000
平成30年大阪府北部地震	大阪府北部地震ボランティア・NPO活動支援金	12	13,571,873
平成30年7月豪雨	ボラサポ・豪雨災害	256	259,370,000
平成30年台風21号	ボラサポ・台風21号災害	59	52,067,876
平成30年北海道胆振東部地震	ボラサポ・北海道	32	49,946,000
令和元年山形沖地震	(寄付募集は行わず)	6	1,110,000
令和元年8月大雨災害	災害ボラサポ・8月九州豪雨	38	14,810,000
令和元年台風15号	災害ボラサポ・台風15号	30	12,960,000
令和元年台風19号	災害ボラサポ・台風19号	185	235,840,000
令和2年7月豪雨	ボラサポ・令和2年7月豪雨災害	72	98,850,000
令和3年福島県沖地震	ボラサポ・福島県沖地震災害	9	3,310,000

「READYFOR×ボラサポ 災害支援基金」の立ち上げ



READYFOR × 災害ボランティア・NPO活動サポート基金

近年、大規模かつ広域災害が増加する中で、災害支援の現場において専門的な支援を行う非営利団体による活動の必要性が高まっています。

これを受け、被災者支援活動の活性化と災害時における支援金への寄付拡大のため、READYFOR株式会社と連携し、災害支援を専門とする非営利団体による活動を対象とした緊急助成プログラムへの寄付募集および助成の仕組みである「READYFOR×ボラサポ 災害支援基金」を、ボラサポにおけるプログラムのひとつとして立ち上げました。

運営委員会・審査委員会により応募内容の審査を行った結果、当該プログラムによって活動する団体として、被災者支援活動に取り組む8法人を登録しています。

団体名	団体所在地
一般社団法人 BIG UP石巻	宮城県石巻市
一般社団法人 OPEN JAPAN	宮城県石巻市
一般社団法人 ピースボート災害支援センター	東京都新宿区
公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会	東京都新宿区
公益社団法人 青年海外協力協会	長野県駒ヶ根市
特定非営利活動法人 レスキューストックヤード	愛知県名古屋
特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト	大阪府茨木市
特定非営利活動法人 リエラ	大分県日田市

(順不同)

2020年度に発生した災害への助成

ボラサポでは2020年度に発生した、令和2年7月豪雨、令和3年福島県沖地震の災害を特定した寄付募集を行い、被災地において支援活動を展開する団体への助成を実施しました。

なお、令和3年福島県沖地震における助成については、2020年度に公募し、2021年度に助成決定いたしました。

令和2年7月豪雨

2020年7月3日からの大雨により、九州地方をはじめ広範囲にわたり甚大な被害が生じ、非常に広範な地域で河川の氾濫や家屋の浸水、土砂崩れなど、人的被害を伴う被害が多数発生しました。

これを受け、7県28市町村で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等による救援・復旧・復興のための支援活動が行われました。

こうした支援活動を応援するため「ボラサポ・令和2年7月豪雨災害」を実施し、72件、98,850,000円の助成を決定しました。



■ 寄付と助成状況

災 害 名	令和2年7月豪雨
助成事業名	ボラサポ・令和2年7月豪雨災害助成事業
寄 付 額	142,909,639円
助 成 件 数	72件
助成決定額	98,850,000円

令和3年福島県沖地震

2021年2月13日、福島県沖を震源とするM7.3最大震度6強の地震が発生し、福島県・宮城県の沿岸部を中心に2万戸近くの住家が被害を受け、ボランティアグループやNPO団体によって屋根瓦へのブルーシート張りなど技術を伴う活動をはじめとした被災者支援活動が展開されました。

こうした活動を応援するため「ボラサポ・令和3年福島県沖地震災害」を実施し、9件3,310,000円の助成を決定しました。



■ 寄付と助成状況

災 害 名	令和3年福島県沖地震
助成事業名	ボラサポ・令和3年福島県沖地震災害助成事業
寄 付 額	1,319,000円(2021年5月末現在)
助 成 件 数	9件
助成決定額	3,310,000円

2020年度ボラサポ収支のご報告

2021年3月31日現在

収入額 ————— 656,226,123円

内訳

- 寄付金 188,972,387円
- その他 1,333,903円
- 前年度からの繰越金 465,919,833円

支出額 ————— 202,676,625円

内訳

- 助成金 176,240,544円
- 事業費 26,436,081円

繰越額 ————— 453,549,498円

2020年度に発生した災害への助成①

団体名 レスキューアシスト熊本

活動名 令和2年7月豪雨での緊急災害支援活動

災害名 令和2年7月豪雨

助成決定額 300万円

活動場所・拠点 熊本県八代市、熊本県人吉市

活動期間 2020年8月4日～2020年12月26日

URL/SNS <https://www.facebook.com/rak20160414>

●活動内容

災害発生直後から八代市坂本町で支援活動を開始。高齢なかが多い地域かつコロナ禍で少ない人員での活動となり長期的支援を要しました。家財搬出と分別、床下の泥かき、ダンプで泥の搬出、床剥ぎ・壁剥ぎ・釘抜きのほか、人力で撤去困難な土砂はユンボを使用して作業を行いました。

●活動の成果

資機材・車両・重機の調整・調達・管理を行い活動しやすい環境を整えました。効率よく作業できるよう事前に住民の皆様や社会福祉協議会と活動内容を調整。感染症対策ではガイドラインを作成し参加者へ周知徹底。住民の皆様もボランティアの方々も安心できるよう努めました。

●寄付者へのメッセージ

多くのかたが、自宅を再建して暮らしていけるか悩みながら片づけを行ってられました。当団体では過去の経験を活かし住民の皆様に寄り添った活動を心がけました。皆様のご支援により継続的に活動することができました。

団体名 復興支援福岡

活動名 令和2年7月豪雨による福岡県内の水害被災者のための家屋消毒・修繕活動

災害名 令和2年7月豪雨

助成決定額 96万円

活動場所・拠点 福岡県久留米市、大牟田市

活動期間 2020年8月6日～2021年1月31日

URL/SNS <https://www.facebook.com/hukkoshien.fukuoka/>

●活動内容

地元ボランティア団体や社会福祉協議会と協力し家屋の洗浄・乾燥・消毒作業を実施しました。高圧洗浄機やバキュームクリーナー等を使用した洗浄、送風機とダクトを使った乾燥、噴霧器やスチームクリーナーなどを使った消毒、畳等の床材が使えなくなったお宅へ緊急動線確保のコンパネ設置などを行いました。

●活動の成果

水害から1ヵ月以上経った時点でもまだ基礎に水が溜まっている、木材が湿っている、カビが発生しているというお宅が数多くあり、住民の皆様に対処方法と作業内容を説明させていただきました。当初はみなさん不安そうにしておられましたが、活動後は「これで安心して生活できる」と話してくださいました。

●寄付者へのメッセージ

皆様からのご寄付により被災された方の生活不安を解消することができ心から感謝いたします。私共に思いがあっても、ご寄付がなければ実現できませんでした。今後は、関わってきた住民の皆様と連絡をとりながら不安を消すサポートを行います。

2020年度に発生した災害への助成②

団体名 天ヶ瀬温泉未来創造プロジェクト

活動名 被災住民同士の交流と憩いのための シェアキッチン事業

災害名 令和2年7月豪雨
助成決定額 289万円
活動場所・拠点 大分県日田市
活動期間 2020年9月1日～2021年3月31日
URL/SNS <https://www.facebook.com/amamira0707>



●活動内容

被災した天ヶ瀬温泉街の住民から「地域で集まる場所がない」「交流がなくなった」という声を受け、「住民が集まり交流できる場所」「外部人材と関わりが持てる場所」を提供するため、被災した美容室を住民とボランティアの力で改修。飲食を提供できる「あまみらカフェ」をオープンしました。

●活動の成果

「あまみらカフェ」の運用が始まって以降、地域住民が集まり復興への不安や日々の悩みを打ち明け心を軽くする様子が見られました。みなし仮設住宅に住む住民もカフェをきっかけに地元へ戻り友人と交流を楽しむ姿が見られました。地域住民、みなし仮設住宅入居者、支援者が交流する拠点としてカフェが機能し、地域の絆が育まれました。

●寄付者へのメッセージ

ご寄付、ご支援本当にありがとうございました。皆様からの支援のおかげで、被災した地域に住民の交流施設「あまみらカフェ」をオープンし、地域の住民の交流や精神面でのケアを行う事ができました。

地域住民の想いを大切に、引き続き天ヶ瀬地区の復興に携わり復興の輪を広げたいと思います。

団体名 ふらっとーほく

活動名 福島県沖地震における緊急生活、運搬支援

災害名 令和3年福島県沖地震
助成決定額 23万円
活動場所・拠点 宮城県山元町
活動期間 2021年2月14日～2021年3月14日
URL/SNS <https://bit.ly/385il8e>



●活動内容

発災直後、断水が発生したため独居・移動困難の方を中心に水道水の配達、ニーズ調査等を実施。その後も独自にニーズ調査、がれき運搬を行うとともに地元コミュニティFMで情報発信を開始。社会福祉協議会による災害ボランティアセンターが発足したあとは、連携して活動しました。

●活動の成果

行政や外部の専門性の高いボランティアが入る前の、災害発生直後～緊急期におけるニーズ調査や移動困難者のライフラインの確保、運搬支援等を機動的に行いました。平時から感染症対策ができていたことで緊急期における支援体制の構築ができ、専門性の高い外部チームの活動につなげることができました。

●寄付者へのメッセージ

皆様のご支援のおかげで、東日本大震災の経験を活かし、現地スタッフや近隣の学生ボランティアによる緊急の支援体制をつくることができました。専門性の高いボランティアチームや、行政が動く前のヒアリングや緊急支援の位置づけで行った活動でしたが、安心して支援に取り組むことができました。



「ボラサポ～住民支え合い活動助成」のご紹介

発災後、一定期間を経過した復興期にある被災地において、長期的な観点から、住民自らの支え合いで新たな地域づくりを進める活動を支援するため、中央共同募金会ではボラサポによる「住民支え合い活動助成」を実施しています。

住民支え合い活動助成は、主として被災した地域が所在する都道府県共同募金会により実施されています。

○東日本大震災の被災地における「被災地住民支え合いサポート募金（ボラサポ2）」

「被災地住民支え合いサポート募金（ボラサポ2）」は、東日本大震災の被災地（岩手県・宮城県・福島県）における住民同士の支え合いづくりや被災地の復興に向けてさまざまな人のつながり、地域のコミュニティづくりの活動を支援する助成を継続して行っています。

東日本大震災の被災地における「被災地住民支え合いサポート募金（ボラサポ2）」による助成件数と金額（2020年度）

	助成件数	助 成 額
岩手県	43件	7,176,000円
宮城県	370件	18,261,000円
福島県	117件	10,364,000円

○熊本地震の被災地における「ボラサポ・九州 住民支え合い活動助成」

「ボラサポ・九州 住民支え合い活動助成」は、熊本地震の被災した地域の住民の方が中心となって、地域に密着したさまざまな人のつながりづくりや、被災地域のコミュニティ再興のための見守り活動や情報交換や交流の場づくりを資金面で支えるため、被災地における地元住民のグループ等による助け合い活動を支援するための助成です。

熊本地震の被災地における「ボラサポ・九州 住民支え合い活動助成」による助成件数と金額（2020年度）

	助成件数	助 成 額
熊本県	460件	18,180,000円

○平成30年7月豪雨の被災地における住民支え合い活動助成

平成30年7月豪雨災害の被災地では、今なお、被害の大きかった被災地を中心に地元住民による助け合いやコミュニティづくり等の活動が行われています。

そうした状況から、岡山県、広島県、愛媛県の各県共同募金会を通じて、地元団体による支援活動に対する助成を継続して行いました。

平成30年7月豪雨の被災地における被災地住民支え合い活動助成助成件数と金額（2020年度）

	助成件数	助 成 額
岡山県	23件	17,710,000円
広島県	1件	10,000,000円
愛媛県	7件	8,100,000円

○平成30年台風21号災害の被災地における住民支え合い活動助成

平成30年台風21号災害により被災した方々への助け合い活動に対する支援や、今後起こり得る災害への防災・減災活動を継続的に支援するために、大阪府共同募金会を通じて、地元団体による支援活動や、次の災害に備えるための活動に対する助成を継続して行いました。

平成30年台風21号災害の被災地における被災地住民活動助成助成件数と金額（2020年度）

	助成件数	助 成 額
大阪府	11件	7,191,876円

○北海道胆振東部地震の被災地における住民支え合い活動助成

平成30年北海道胆振東部地震により被災した地域で支援活動を行うボランティア・NPO団体の継続した活動を支援するために、北海道共同募金会を通じて助成を行いました。

平成30年北海道胆振東部地震の被災地における被災地住民活動助成助成件数と金額（2020年度）

	助成件数	助 成 額
北海道	3件	400,000円

災害時の企業・団体等の協力事例

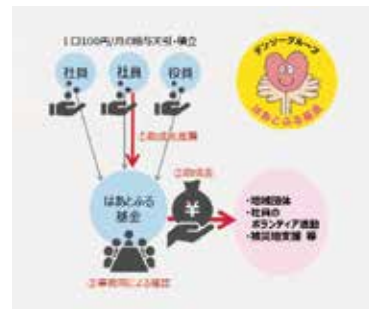
「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）」は、特定の災害時以外にも、常時ご寄付を受け付けています。個人寄付のほか、企業・団体等からの法人寄付・社員募金、店頭募金やイベント募金、寄付つき商品、製品の提供等さまざまな形でご協力をいただいています。一部をご紹介します。

グループ各社からの法人寄付&社員募金による支援

デンソーグループ

株式会社デンソーをはじめとするデンソーグループでは、社員有志から毎月の給与・賞与の100円/口を積み立て、社会貢献活動に寄付する「デンソーグループはあとふる基金」を実施しています。近年頻発する大きな災害時には、法人寄付と併せて同基金からご支援いただいています。令和2年7月豪雨の際は、グループ各社からの法人寄付と同基金に加え、中央共同募金会が開設する企業別ネット募金「社員WEB募金箱」※を活用したご寄付をいただきました。

また、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議を通じて人吉市災害ボランティアセンターの運営を支援するため、社員ボランティアの派遣も行っていました。



社員募金+マッチング寄付で息長く災害支援

株式会社野村総合研究所

株式会社野村総合研究所（NRI）からは、NRIグループ社員の皆さまからの寄付に、NRIからマッチング寄付を合わせる形で、2011年から継続して、東日本大震災復興支援のためにボラサポ（現在は「ボラサポ2」）へご寄付いただいています。2020年度は、「ボラサポ・令和2年7月豪雨災害」へもご支援いただきました。

東日本大震災から10年、ボラサポではお一人おひとりのご厚志を大切に役立てています。



企業の特性をいかし、寄付つき商品で継続支援

株式会社ユニテッドアローズ

株式会社ユニテッドアローズでは、2011年の東日本大震災を契機に、被災地復興チャリティプロジェクト“MOVING ON TOGETHER!”を立ち上げ、ファッション小売としての特性をいかした寄付つき商品やキャンペーン等を展開しています。ボラサポへは2011年以来、継続してご寄付をいただいています。また、2020年度の「united LOVE project 2020」では、ボラサポのほか、コロナ関連の緊急募金へもご支援いただきました。

united
love
project²⁰

「社員WEB募金箱」とは？

中央共同募金会では、共同募金会が直接運営する募金について、一般のネット募金とは別途に、企業ごとに個別の「社員WEB募金箱」を開設しています。社員の皆様にWEB募金箱のURLをお知らせいただくだけで、社内募金の告知や取りまとめが可能となるため、従来の社員募金に比べてCSR担当者のご負担が減り、2019年10月スタート以来多くの企業にご活用いただいています。開設費用は無料です。

詳細は、中央共同募金会・基金事業部（社員WEB募金箱担当）へお問い合わせください。
TEL：03-3581-3846 メール：kikin@caikai.or.jp





「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）」等へのご支援ご協力企業・団体例（五十音順・敬称略）

【「ボラサポ・令和2年7月豪雨災害」「ボラサポ・福島県沖地震災害」へのご支援】

アイシングループ

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

一般財団法人H₂Oサンタ

エドワーズライフサイエンス株式会社

キャノンマーケティングジャパン株式会社

経団連1%クラブ

コスモエネルギーホールディングス株式会社

じしんほけん絆

ジャパンゴルフツアー選手会

商船三井グループ

ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ

株式会社SUBARU

住友林業株式会社

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOちきゅう倶楽部

SOMPOひまわり生命保険株式会社

第一三共グループ

Daigasグループ“小さな灯”運動（大阪ガス株式会社）

株式会社大和証券グループ本社

デンソーグループ／デンソーグループはあとふる基金

電通グループ

東京海上グループ／東京海上みづたま会

日本航空株式会社

日本生活協同組合連合会

株式会社野村総合研究所

パナソニック株式会社

PwC Japanグループ

芙蓉総合リース株式会社

古河電工グループ

株式会社文化放送

マツダ株式会社

三井住友銀行ボランティア基金

三井住友信託銀行株式会社

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

三井製糖株式会社

株式会社安川電機／YASKAWA未来クラブ

Yahoo!基金

株式会社ローソン銀行

【「ボラサポ・九州」（熊本地震）へのご支援】

Daigasグループ“小さな灯”運動（大阪ガス株式会社）

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

【「ボラサポ2」（東日本大震災）へのご支援】

NTTドコモグループ各社／社員有志の皆さま

ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社

Daigasグループ“小さな灯”運動（大阪ガス株式会社）

野村グループ

株式会社野村総合研究所

Yahoo!ネット募金（ヤフー株式会社）

【「ボラサポ」全般へのご寄付】

大阪ガスともしびクラブ（大阪ガス株式会社）

花王株式会社

J-Coin Pay「ぽちっと募金」（株式会社みずほ銀行）

辻・本郷税理士法人

株式会社日テレ アックスオン

日本たばこ産業株式会社

野村グループ

株式会社バーニーズ ジャパン

ブックオフコーポレーション株式会社（キモチと。）

株式会社八木熊

株式会社ユナイテッドアローズ

リコーイメージング株式会社

【その他災害支援へのご寄付】

デロイト トーマツ グループ ※東日本大震災 震災遺児修学資金

このほか多くの企業・団体の皆さまにご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

※ご寄付の際に寄付申込書をご提出いただくなど、中央共同募金会よりご連絡が可能であった企業・団体のうち、ご承諾いただいた場合のみ名称を掲載しております。また、掲載にあたっては基準を設けさせていただきました。